

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4G-2401
研究課題名	プランクトン AI 画像判別計数システムによる湖沼・ダム湖生態系監視手法の確立と展開
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	東北大学
研究代表者名	占部城太郎

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、プランクトンの専門的知識がなくてもデータの分析を可能にするシステムの開発を目指しており、有用な成果を上げつつあることが高く評価された。サブテーマ間の連携もよく社会実装に向けた試みが着実に進んでおり、環境行政への貢献が期待される。分類精度の向上や新種発見は学術的意義が高く、群集画像解析やUI設計も社会的価値があると評価された。研究チームは分類から実務応用まで包括的に構成されており、画像解析による細胞容積や炭素量の推定などにさらなる研究の展開が期待される。一般利用者への啓発にもつながるシステム構築も進んでおり、論文化も順調である。一方、データベースの一般公開に際しては誤用防止に具体的な記載が必要であり、水質監視への適用には目的に応じた設計が求められる。